

市民のくらしが大変な今 市民を支える市政を



日本共産党国分寺市議団 中山 こう

《介護保険料の値上げ抑制を》

問) 介護保険運営協議会の資料で①～③の案があり、最低でも第4段階(標準額)で498円の値上げ。現在の案よりさらに保険料が上昇する可能性があるのか。

福祉保健部長) 基盤整備等を進める中で、保険料は上げざるを得ないと認識している。

問) これ以上保険料を上げないでほしいと市民から多くの声がある。保険料の上昇を抑えるために一般財源からの繰り入れを求める。

市長) 一般会計からの繰り入れは、今後の運営協議会の議論等をまわって、判断していきたい。

《介護保険利用料の軽減制度の復活を》

問) 利用者の負担軽減を求める声が多くなっている。軽減制度の復活を求める。

福祉保健部長) この制度を復活させることは現在検討していない。

* サービスが増えるほど保険料が高くなるのが介護保険の大きな問題。また、利用料も大きな負担になっている。高齢者の生活に寄り添った介護保険の運営が必要と指摘した。

《生きがい事業、高齢者入浴サービス継続を》

問) この入浴事業を楽しみにしている市民は多い。なぜ廃止するのか。

福祉保健部長) 本来の目的の高齢者のくつろぎの場や介護予防の視点で新たなサービス提供を考え、入浴事業は廃止する。

* 入浴事業廃止により今ある人間関係を失ってしまう、高齢者の生きがいを奪うことになる。入浴事業の継続を求めた。

《ぶんバスの拡充を》

問) 北町地域にぶんバスを求める声が非常にたくさんあり、市民団体も340筆の署名をつけて市長に要望書を提出した。福祉的役割も兼ねているぶんバス北町ルートの新設を求める。

都市建設部長) 既存バスと重複が多く困難。立川バスの延伸を検討中。

* 西町ルート変更や、コミュニティタクシーの検討も含めて移動手段の拡充を求めた。

* その他、公民館の無料利用での継続を求めた。

民間任せをやめ、 行政の役割発揮する市政に



日本共産党国分寺市議団 岡部 宏章

＜保育「全体計画」について＞

問) 大半の保護者は、公立保育園が次々と民営化される中で、果たして保育の質は維持されるのか、大きな不安を抱いて、到底納得をしていないのが現状。保育の計画にあたっては、長年の保育実践を振り返っていくべき。

子ども福祉部長) 恋ヶ窪保育園を民営化する時にまとめている。また、保育の基本構想は国分寺としてやるべき姿を明らかにしている。

問) 1園あたり年間8,300万円もの財政縮減をするということに、保育の質を高める視点はあり得ない。保育士の労働条件が下がれば保育の質を高めていくことが計画上保障されるのか。

子ども福祉部長) 民設民営園については、それ

ぞれの法人の給与体系が一般的には市の水準よりも下がっているのは確か。

＜児童館・学童保育の指定管理者制度＞

問) 本町四丁目臨時自転車駐車場で公金横領事件によって、指定管理者制度は市が民間業者に丸投げして責任を取り切れなくなってしまうという制度上の問題があることが明らかになった。児童館や学童保育で何らかの問題が起きたら市は責任を取れるのか。

子ども福祉部長) 日常的に(業者が) どういうふうになっているのかを、私達が把握していく。

問) 指定管理者制度に係る基本方針は見直しが必要ということになっているが、それを児童館や学童保育に適用していいのか。

子ども福祉部長) 基本的な問題はないだろうと考えている。

* 5年間という指定の期限があるのは、時間を掛けて子ども達との関係を築いていく児童館や学童の運営に馴染まないことも指摘しました。

＜学校給食民間委託について＞

問) 受託した調理業者への栄養職員からの指示は偽装請負となり、法的には出来ないはず。民間委託の取りやめも含めて判断すべき。

教育次長) 充分研究の上で導入していきたい。

その他、雨水浸透ます内の放射線対策について質問しました。

筋違いな国民健康保険税の 値上げは撤回せよ



日本共産党国分寺市議団 幸野 おさむ

幸野) ◆国保税の値上げについて◆加入者一人当たり年間平均1万5千円の負担増は、特に低所得者に重い負担で、断じて認められない。この間、社会保障制度である市からの繰り入れ分が、多摩26市で最下位クラスになっている。その分は加入者が負担してきた。市長が平成16年度に国保税を大幅に値上げした結果だ。

副市長) 市からの繰り入れ分は必ず出さなければならないものではない。他市もいろいろ財政事情があるから差はあって当たり前だ。

幸野) 今回の値上げの根拠になっている国保会計の赤字について加入者に責任があるのか。

副市長) これは制度上の問題で、一人ひとりの加入者には責任はない。

幸野) 制度運営上の問題で、市と国保連と、社会保険支払基金の三者の間で算定を見誤り、市の国保会計に赤字が出ている。今回の値上げは、行政の責任を、すべて加入者に押しつけるやり方で筋違いだ。国保税の値上げではなく、市が一般会計からの繰り入れを増やして、赤字を解消すべきだと求める。

副市長) その選択肢を取るつもりはない。このまま放置すれば将来、大幅な値上げをお願いすることが推測されるのでこのような判断にいたった。

幸野) 将来でなく今回が大幅な値上げになっている。応益割額は多摩でワースト1だ。値上げの理由も成り立たない。ありえない提案だ

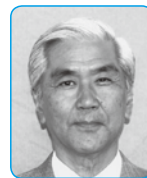
◆小中学校の全教室にエアコンの設置◆は来年の夏に間に合うように補正予算でやるべき。東京都の補助金は来年度いっぱい終了する。来年度実施するならすぐやるべき。

市長) 震災後の様々な補助金の制度等の状況をみて6月に補正減した。ここは理解していただくしかないと思っている。

幸野) ◆国分寺駅北口再開発について◆、東海

地震や立川断層帯地震の事が、政府や都の防災会議で議論されている。市としてもきちんと検証することが必要で、それまで事業はストップすべきだということを求める。

小学校給食の 民間委託には保護者の合意を



無会派(社民党) 釜我 健二

釜我) 教育委員会は小学校給食を直営から民間委託に変更する計画を示した。しかし、子ども達の生命にかかわる大切な給食が、利潤追求と競争原理の中で「安全・安心」が確保されるのか不安の声もある。保護者を含む「検討委員会」を設置して、まずはその合意を得るべきだ。

教育部長) 「検討委員会」にするかは即答できない。さまざまな形で保護者・児童の声を聴く場を設けて検討する必要がある。

図書館は職員と市民の力で直営堅持を

釜我) 市立図書館は、内部努力等でコストも改善されてきた。専門性と経験の伝承が大切なので、職員と市民力の活用で直営を堅持すべきだ。教育部長) 選書、除籍、目録作製、調べ物相談など職員が従事すべき業務もある。これからの検討の選択肢の一つと考えたい。

教育委員会の運営方法を改善すべきでは

釜我) 教育委員会は市民が提出した公民館有料化に関する請願を、議論する前に不採択としたが、結論を出すまでは「継続」扱いにすべきだ。教育長) 検討の入口で採択とか不採択とか明確にしにくい。継続は請願者に失礼と思い、委員会で協議して不採択とした。

釜我) 不採択は「願意に沿えない」との決定だ。教育委員会はそこまで到ってないのだから「継続」しかないはずだ。扱い方を再検証すべき。

ごみ有料化導入の根拠はあるのか

釜我) 市長はごみ減量のために有料化をすると述べているが、多摩地区では有料化しても、有料化してない国分寺市より一人当たりのごみ量が多い市が10市もある。このことから有料化の根拠の検証が不十分なのではないか。

環境部長) 確かに国分寺よりごみ量の多い市は幾つもある。有料化しても「リバウンド」もある。生ごみ堆肥化の減量を併せて取り組む必要があり、その検証を行っているところだ。

釜我) 生ごみ堆肥化の本格的実施を具体的時期を含め市の計画として確立すべきだ。

環境部長) 平成25年からの新しいごみ減量アクションプランに盛り込む形で検討したい。

請願・陳情の提出について

請願・陳情はどなたでも提出できます。

平成24年第1回定例会(2月24日開会予定)からの審査を希望する方は2月6日(月)までに提出してください。

※ご不明な点は、事前にお問い合わせください。

調査担当(内581)

